

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：山口 浩 由

所属：平塚市立旭小学校

課題名：「河内川“光”プロジェクト」～地域の川にホタルを呼びもそう～

1. 課題の主旨

総合的な学習での取り組みであるので、まずは「課題を見つけ、その課題解決に向かって、自ら考え行動する子」をめざしているが、この河内川への取り組みに関しては、清掃浄化活動を行い、身近な環境保全、親水への意識を高めることと、「きれいになった川で遊びたい」、また、先輩たちの思いでもあった「河内川に、いつかホタルを飛ばしたい」の実現をめざして取り組んでいる。

2. 課動状況

～はじめに～

地域の川にホタルを呼び戻す活動は一朝一夕でできるものではないことを子どもたちも承知している。そこで、ホタルを飛ばすという夢の実現のため、まずは2004年度に、7ヶ月を費やして作った校内の川でのホタル実現を目指し、卵から育てたホタルの飼育をし、2005年3月に校内の川に放流した結果、2005年6月にわずか20数匹ではあったが飛ばすことに成功した。再び成虫から採卵し、同様に育てた結果、今年（2006年）6月にもホタルを飛ばすことができた。この時のホタルの数は、正確には数え切れていないが、70～80匹であったと思われる。

2年続けて校内の川でホタルを実現できたことで、子ども達の思いは、一気に地域の川“河内川”にホタルを！の思いが膨らんでいる。と同時に、校内の川の水源を水道水に頼るのではなく、井戸を掘って、より自然に近い形にしたいという以前からの思いも強まった。

子どもたちが行った活動の概要

河内川・・・毎月の学年全員での河内川清掃、ゴミの種類調べ、パックテストによる水質検査、育てた花の土手や花壇への移植、あじさいの挿し木、生き物調べ（河内川水族館づくり）、ポスター作成で自然環境保全の呼びかけ、河内川についての情報収集と新聞製作、河内川で遊ぼう（水遊び）、バードウォッチング、地域団体「あじさいを愛する会」の活動への自主参加

いのち川（校内川）・・・2004年度6年生が、ホタル実現に向けて、7ヶ月間を費やして完成させた校内の川。水源は水道水。池との循環式。2005年度5年生から「井戸がほしい。」の声。ホタル飼育、カワニナ飼育、ポンプの掃除、校内川の土手の強化作業、ホタル放流会、ホタル情報新聞づくり、ホタル看板製作と設置、下級生への活動協力要請

子どもたちの興味関心の広がり

先輩たちが2001年度から続けてきた毎月1回の清掃活動を受け継ぎ、自分たちも毎月清掃活動を行ってきた。自分達で行うと決めたことでもあり、水の中に抵抗なく入り、ゴミを拾うことが当たり前ようになってきたのは先輩たちと同じである。以前に比べゴミは減ったものの、スーパ

一のレジ袋、空き缶、タバコの吸いがらは毎回目立つ。また、タイヤや自転車、家電製品などの大物も、まだ上がる事もあり運ぶのに苦勞をした。

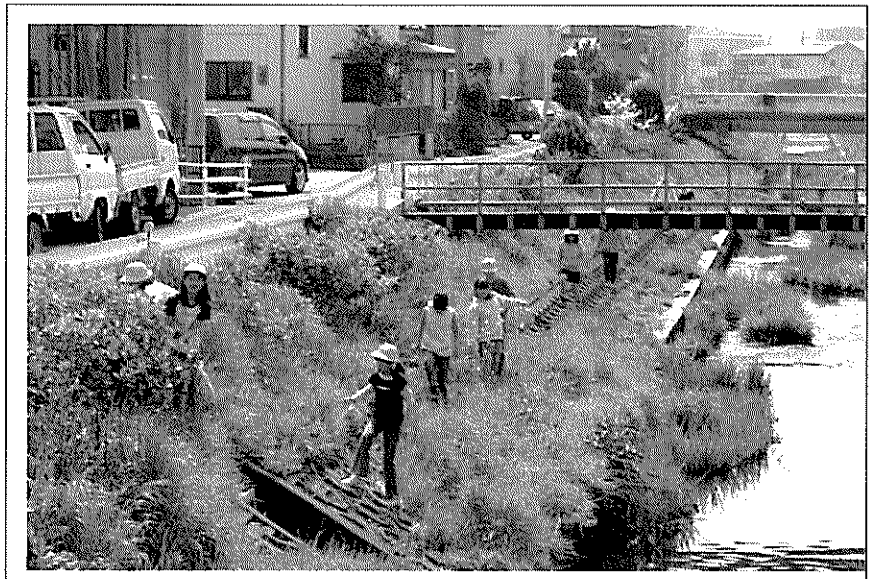
この月1回の清掃活動でどこを清掃するかについては、事前に川の様子を見に行き「今回は○地点をやります」と、場所・持ち物等を報告するグループができて自主的になってきた。

また、清掃活動をしなが、河内川が以前に比べきれいになってきたことがわかるので、ただ清掃活動をしよというだけでなく、川で遊びたいという気持ちが出てきて、魚とりや川での遊びを考えるようになってきた。

さらに、「河内川でホタルを飛ばそう」への取り組みを代々続けてきた中で、まずやってみようと思いた学校内の川“いのち川でホタル飛ばすこと”を実現させたことを受け、そろそろ河内川でも可能なのではないかと考え、ホタルを放流する場所選を始めた。

2005. 4

5年生進級祝いの河内川お散歩



2005. 6

まだまだ上がる大物のごみ。
川底には空きかんも。

河内川 根坂間橋付近



2005. 11

火ばさみで土手のごみ拾い

河内川 大町橋付近



2005. 12

ホタルの世話。

幼虫ももう ずいぶん
大きくなってきました。

教室



2006. 2

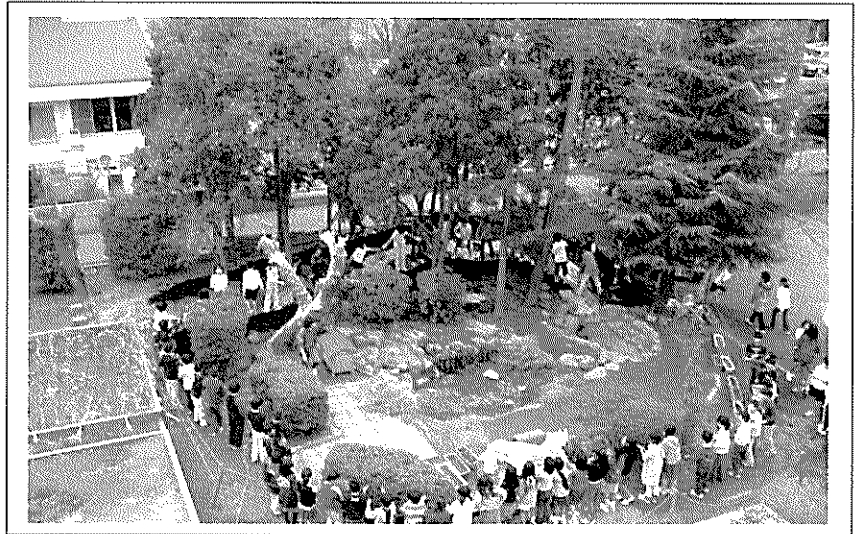
ホタルが上陸しやすいよう
に、みんなで土手の土を補充
する。

学校内の川



2006. 2

ホタルが上陸し、土にもぐり
やすいように柔らかな新しい
土をいろいろな学年が交代で
バケツリレーで運ぶ



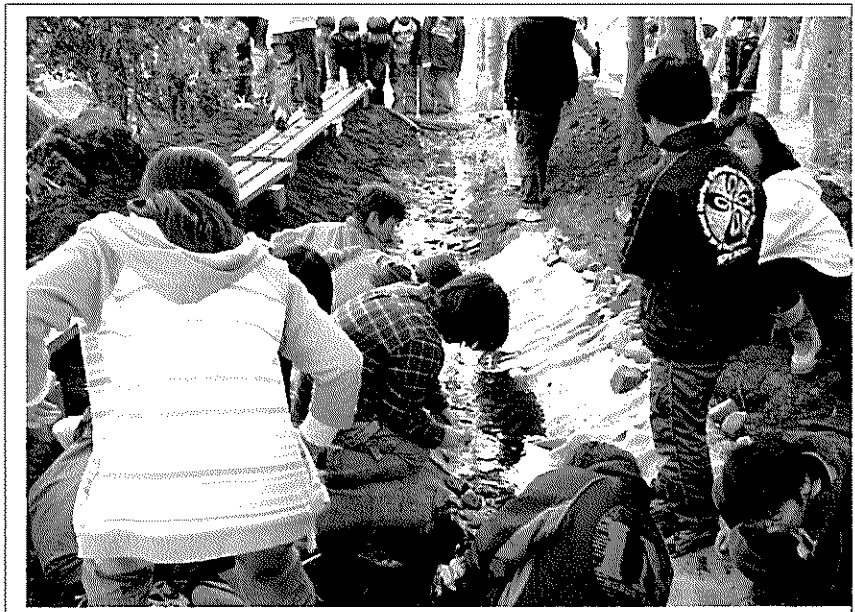
2006. 3

立派に育ったホタルの幼虫



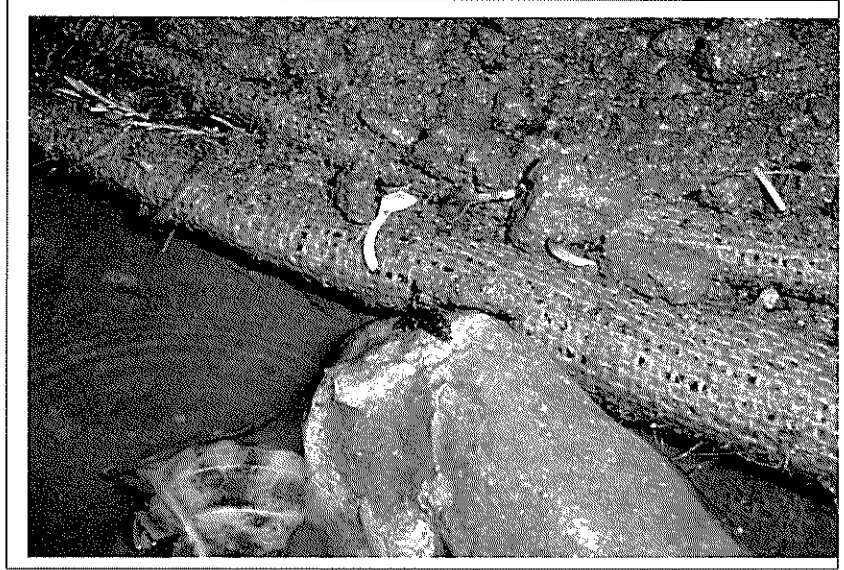
2006. 3

ホタルの幼虫を校内の川に放
流



2006. 4

雨の夜、上陸を開始した
ホタルの幼虫〔石の上〕



2006. 6

暗闇に飛び立ったホタル



2006. 6

校内の川のほとりの笹にとまった
ホタル



2006. 10

ついに待望の井戸完成



2006. 10

地下12mからくみ上げられた水
が校内の川に流れ出す



3. 結果

- ・子どもたちの活動の中に自主性、協調性、創造性の伸長が見られた。
- ・子どもたちの身近な自然環境、河川への興味が深まった。
- ・地域との協働により活動に広がりをもて、人とのつながりができた。
- ・初め先輩たちの活動という意識での活動であったが、自分たちの活動であるという自覚が出て、継続性を考えることができた。

4. 今後の課題と発展

- ・自分たちだけで完結する活動ではないこと。
- ・ホタルの飛ぶ学校の定着化を図る。
- ・悪条件の中でホタルを飛ばしてゆくための工夫。
(今だ多いごみ、コンクリート護岸、多くの鯉やザリガニ、県道の灯りや排気ガス)
- ・学校中の活動への発展。
- ・完成した井戸を利用し、校内での水生生物飼育（カワニナ、蜃）とそのためのより良い環境作り。

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

なし